

第1学年 国語科学習指導案

令和7年10月3日(金)

1年1組 29名

1 単元名 おもいうかべながら よもう

教材名 「くじらくも」 中川李枝子 (光村図書 1年)

2 単元の目標

- ・かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。【知(1)ウ】
- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。【思C(1)エ】
- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。【知(1)ク】
- ・積極的に想像力を広げて読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】

3 評価規準

観点	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。 ②語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。	①場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。	①積極的に想像力を広げて読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。

4 人権教育の視点(普遍的な視点からの取組)

叙述を基に、登場人物の行動や会話を想像しながら物語を読み、児童一人一人が自分の考えを文章に書いたり、ペアや全体で話し合ったりすることを通して伝え合う力を育む。

5 本単元の学習指導要領上の位置付けと関連的な指導

- ・本単元は、国語科の「第1学年及び第2学年の内容」2〔思考力・判断力・表現力等〕C「読むこと」に位置付く学習である。
- ・特別活動の学級活動「(1)学級や学校における生活上の諸課題の解決」と関連させることができる。
- ・道徳の教科 道徳「友達っていいな」(友情・信頼)

6 児童の実態

※省略

7 単元設定の理由

本単元で扱う「くじらぐも」は、空に浮かぶ雲と子どもたちの会話を中心に展開される、空想の世界と現実の世界が交差する物語である。子どもたちがくじらぐもに乗って空を旅するという空想的な場面も、会話を通して自然に描かれており、児童の想像力をかきたてる内容となっている。

これまでの国語の学習では、音読を中心に物語を楽しんできたが、本教材はさらに一歩進んで、叙述を基に登場人物の会話や行動を想像する力を身に付けることができる教材である。特に会話文が多く、児童が登場人物になりきることができるため、動作化などの活動を通して、言葉を体感的に理解し、楽しみながら学ぶことができる。また、ペアや全体交流の活動を取り入れることによって、友達と一緒に学び合う楽しさを味わうことができる。それらの活動を通して、自分の考えを言葉で表すことの楽しさを味わったり、互いの考えを知ることで、「そんなことも考えられるんだ」、「自分もこんなことをしてみたい」と、考えの幅を広げていったりすることが期待できる。そのような経験の積み重ねが、自己理解や他者理解の土台となっていくと考え、本単元を設定した。

8 研究主題との関連

(1) 目指す児童像

※アンケート結果は省略

アンケートの結果から、「5. わたしは、ともだちをたいせつにしている」の肯定意見が高いことが分かる。このことから、友達との関わりをもち、その上で相手を大切にしようという気持ちをもっていることが分かる。一方で、「3. わたしは、じぶんがすきだ」と「7. わたしは、いろいろな人とはなすことでじぶんがせいちょうするとおもう」の肯定意見が低い。このことから、自己肯定感を高め、他者との話合い活動に積極的に取り組めるようにしていく必要があると考えた。

そこで、低学年分科会では、目指す児童像を「自分を大切にし、積極的に他者と関わり合おうとする姿」と設定した。低学年分科会の考える「自分を大切にする」とは、自分の思いをもち、安心して伝えたり書いたりする姿や、自分のよいところを自分で見つけたり、友達に見つけてもらえたりする姿のことである。また、「積極的に他者と関わり合おうとする姿」とは、他者の話を最後まで聞こうとする姿や友達の発表への肯定的な反応、頷き、拍手、ハンドサインなどで、友達の考えを受け止める姿のことである。

(2) 研究主題・目指す児童の姿に迫るための手だて

気付く	手だて① 学習のふりかえりを生かすための工夫 学習の見通しをもつ2時間目には、既習の「読むこと」の学習感想や普段の様子を基に、ペアや全体交流の様子について振り返る時間を設定する。ペア・全体交流の場面では、どのような姿を目指したいのか、具体的な学び合いの姿を児童と共有し、単元を通して意識できるような学習計画を立てる。
関わる	手だて② 自由な発想を引き出し、友達と楽しく交流するための工夫 友達と一緒に動作化をして自由に動いたり、場面の様子について会話したりしながら、児童の自由な想像や考えを引き出せるようにする。その活動を基に想像したことを記述し、ペアや全体で伝え合えるようにする。ペアでの交流では、互いの考えを伝え合い、感想を言えるように練習していく。
認める	手だて③ 自分や友達の考えのよさに気付くための工夫 振り返りでは、自分やクラスの学び合いの様子について振り返る時間を設定する。ワークシートには、共感できた友達の名前を記述する欄「きらりさん」を用意し、自分以外の考えに目を向けられるようにする。さらに、教師が指名して「きらりさん」に選んだ理由を発表するように促し、友達の考えのよさを認める経験を積み重ねていく。

9 学習指導計画(本時は5時間目)

次	時	○学習活動	◇人権教育に関わる留意点等
1	1	○物語と出会う。 ・題名と作者を読む。 ・範読を聞く。 ・感想を交流する。 ・声に出して読む練習をする。	◇題名と作者を確認し、題名からイメージすることを話し合う。 ◇物語の内容について、文章の書き方について思ったこと、気付いたこと、不思議に思ったことを交流するようにする。
2	2	○内容の大体を捉える。 ・声に出して読む練習をする。 ・物語の設定を確認する。 ・挿絵を使って、出来事の流れを捉える。 ・学習計画を考える。	◇設定(時・場・登場人物)を確認する。 ◇挿絵の並び替えをしながら、出来事の流れを捉えられるようにする。 ◇どんな学習活動をしたいか、児童のアイデアを大切にしながら、学習計画を立てる。また、これまでの学習を振り返り、友達と学び合う視点についても話し合い、学習計画に反映させる。 手立て①【気付く】
	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 子どもたちは、たいそうをしながら いろんなことをしたり、はなしたりしたのだろう。 </div> ・p.6 から p.9 を声に出して読む。 ・難しい言葉や行動・会話を動作化しながら場面の様子を把握する。 ・登場人物の会話を想像し、ワークシートに記入する。 ・ペア、全体で交流する。 ・ふりかえりをする。	◇確認する言葉 (まっしろい・かけあし・よし、きた。) ◇動作化をしながら、想像を広げる時間を十分に確保する。どんな会話があったのか、動画で振り返ることができるように撮影する。 ◇自由な発想を大切にすが、「どの言葉や文から、そう思ったの。」と、問い返し、叙述を基に想像するように促す。 ◇ペア交流では、友達にひと言感想を伝えるように促す。 手だて②【関わる】 ◇学び合う視点についても、振り返るように声を掛ける。 手だて③【認める】
	4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 子どもたちは くじらぐもにのる ちやくぜん、 どんなことを はなしただろう。 </div> ・p.10から p.11を声に出して読む。 ・難しい言葉や行動・会話を動作化しながら場面の様子を把握する。 ・登場人物の行動や会話を想像し、ワークシートに記入する。 ・ペア、全体で交流する。 ・ふりかえりをする。	◇確認する言葉 (30cm・50cm・あつというまに) ◇動作化をしながら、想像を広げる時間を十分に確保する。このとき、どんな会話があったのか、動画で振り返ることができるように撮影しておく。 ◇叙述を基に想像している児童を価値づける。 ◇ペア交流では、友達にひと言感想を伝えるように促す。 手だて②【関わる】 ◇学び合う視点についても、振り返るように声を掛ける。 手だて③【認める】

5 本時	<p>子どもたちは くものうえで どんなことをしたり、はなしたり しただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p.12から p.13を声に出して読む。 ・ミニくじらぐもを使って、場面の様子を捉えたり、想像を広げたりする。 ・登場人物の行動や会話を想像し、ワークシートに記入する。 ・ペア、全体で交流する。 ・ふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇確認する言葉 (村、町、青い 青い、どこまでも どこまでも) ◇ミニくじらぐもを動かしながら、場面の様子や難しい言葉を捉えられるようにする。このとき、どんな行動や会話をしたのか、想像を広げて考えられるようにする。 ◇叙述を基に想像している児童を価値づける。 ◇ペア交流では、友達にひと言感想を伝えるように促す。 手だて②【関わる】 ◇学び合う視点についても、振り返るように声を掛ける。 手だて③【認める】
6	<p>子どもたちは、「さようなら。」のあとに どんなことをしたり、いったりしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p.14から p.15を声に出して読む。 ・ミニくじらぐもを使って、場面の様子を捉えたり、想像を広げたりする。 ・登場人物の行動や会話を想像し、ワークシートに記入する。 ・ペア、全体で交流する。 ・ふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇確認する言葉 (しばらく、なりだした) ◇ミニくじらぐもを動かしながら、場面の様子や難しい言葉を捉えられるようにする。このとき、どんな行動や会話をしたのか、想像を広げて考えられるようにする。 ◇叙述を基に想像している児童を価値づける。 ◇ペア交流では、友達にひと言感想を伝えるように促す。 手だて②【関わる】 ◇学び合う視点についても、振り返るように声を掛ける。 手だて③【認める】
3	<p>7 8</p> <p>「くじらぐも」の にんぎょうげきはっぴょうかいをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな場面を選び、グループを作る。 ・グループで役割分担をする。 ・グループで付け足しの台詞や動きを考えて練習する。 ・「にんぎょうげきはっぴょうかい」をする。 ・「くじらぐも」の学習をふりかえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇同じ場面を選んだ児童同士でグループ編成をする。 ◇グループ練習では、付け足しの台詞と動きを話し合うようにさせる。手だて②【関わる】 ◇単元全体を通して、国語の学習で身に付いたこと、学び合う視点について振り返りを促す。 手だて③【認める】

10 本時 (5/8)

(1) 本時の目標

くじらぐもにのっている場面の様子を捉え、登場人物が何を話したか、どんな行動をしたのかを叙述を基に想像できるようにする。

(2) 本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇人権教育に関わる留意点等 ☆評価規準
導入	<p>○前時までの振り返りをする。</p> <p>○教科書 (p.12~p.13) を声に出して読む。</p> <p>○難しい言葉や表現、会話文を確認する。</p>	<p>◇電子黒板を使って、前時までの学習を振り返られるようにする。</p> <p>◇叙述や挿絵を基に、場面の様子を捉えさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて くもたちは くものうえて どんなことをしたり、はなしたりしたのだろう。</p> </div>		
展開	<p>○雲の上での行動や会話について、紙人形を使いながら想像を広げる。</p> <p>○くじらぐもに乗った子どもたちが、どんな話をしたり、行動したりしたのか、想像したことをワークシートに記入する。</p> <p>○ペアで交流する。(おしゃべりタイム)</p> <p>C1:くじらぐもの上から見ると、町がミニチュアに見えるよ。</p> <p>C2:ミニチュアって、何?</p> <p>C1:すごく小さく見えるってこと。</p> <p>C2:ぼくは、ふわふわな雲の上で、寝てみたい。</p> <p>C1:いいね。気持ちよさそう。</p> <p>○全体で交流する。(なるほどタイム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空が青くて、どこまでも続いているよ。 ・しっかりつかまって、落ちこちないで。 ・遠くに海が見えてきたよ。 ・きっと、みんなはくじらぐもの上に乗って、ふわふわを楽しんだり、遊んだりしたのだと思います。 	<p>◇紙人形を使って、自由な雰囲気 で交流できるようにする。</p> <p>◇ヒントにした言葉や挿絵に印をつけ、叙述を基に、想像を広げられるようにする。</p> <p>◇<u>友達の考えを聞いた時には、何かひと言感想を伝えるように全体で確認する。</u> 手だて②【関わる】</p> <p>◇「何をヒントにしたの。」と聞き返し、何を根拠に想像を広げたのか、分かるようにする。</p> <p>☆叙述を基に想像を広げて読んでいる。【思考・判断・表現】 (発言・ワークシート)</p>
まとめ	<p>○学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんの「□□」の考えが、とてもよかったです。 なぜかという、～だからです。 	<p>◇「<u>きりりさん</u>」を書いている児童を指名し、よかった考えについて<u>具体的に話すように促し、価値づける。</u> 手だて③【認める】</p>

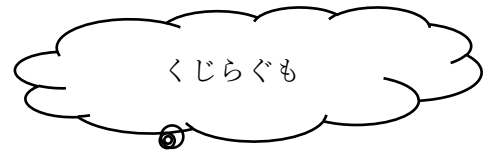
(3) 振り返りの視点

- ① 言葉や絵をヒントにして、考えることができた。⇒ 教科の学びについての振り返り

② 1年2組になりきって、想像したことを書いた。(自分の考えをもつ)
⇒ 教科の学び and 人権の視点についての振り返り

③ 友達の話をよく聞いた。(おしゃべりタイム・なるほどタイム) ⇒ 人権の視点についての振り返り

(4) 板書計画



くじらぐも ながかわりえこ	こどもたちは くものうえで どんなことを したり、はなしたり したのだろう。	ヒント① ことば	ヒント② え	町の 絵	「さあ、およぐぞ。」 そらは、こんなに 青いんだね。	青い 青い 空	げんきよく	うみのほうへ むらのほうへ まちのほうへ	うたをうたった	空は どこまでも どこまでも つづきます	村や 海絵	うみが みえてきたよ。 おうちが 小さく みえ るから、おもしろい。 でんしゃが、おもちゃみ たいにみえるよ。 みんな、なんの うたを うたおうか？ くじらぐもさん、 つぎは、どこに つれてってくれるの？
------------------	--	-------------	-----------	---------	----------------------------------	---------	-------	----------------------------	---------	-------------------------------	----------	---

(5) 授業観察の視点

- ①「紙人形を使ったなりきり遊び」は、児童の自由な想像や考えを引き出し、他者と積極的に関わり合うための手だてとなっていたか。【関わる】
- ②振り返りで行った「きらりさん」は、自分やクラスの友達の考えのよさに気付く手だてとなっていたか。【認める】